

重要情報シート（個別商品編）

使用開始日：2025年05月10日

JPMベスト・インカム（年1回決算型）

1 商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	JPMベスト・インカム（年1回決算型）
組成会社（運用会社）	JPMオルガン・アセット・マネジメント株式会社
販売委託元	JPMオルガン・アセット・マネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	投資先ファンドの有価証券（世界の債券、株式、リート等）を実質的な主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長をはかることを目的とします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	○中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方
パッケージ化の有無	複数ファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズ（FoFs）です。投資先ファンドの個別購入は困難です。
クーリング・オフの有無	金融商品取引法第37条6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・当社が提供する運用商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何ですか？
- ・私は想定する購入層と異なりますが、購入しても問題ないでしょうか？
- ・この商品を購入した場合、どのようなアフターサービスを受けることができますか？
- ・この運用商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	ファンドは、投資先ファンドを通じて国内外の債券、株式、リート、その他の有価証券に投資しますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。（以下に限定するものではありません。） ＜債券のリスク＞信用リスク、ハイ・イールド債券の投資に伴うリスク、金利変動リスク ＜株式のリスク＞株価変動リスク ＜リートおよびその他のリスク＞リートのリスク、為替変動リスク、カントリーリスク、デリバティブ取引のリスク
【参考】過去1年間の収益率	0.8%（2025年4月末現在）
【参考】過去5年間の収益率	平均0.9% 最低-15.7%（2022年9月） 最高24.2%（2021年3月） （2020年5月～2025年4月の各月末における直近1年間の数字）

※リスクの詳細は交付目論見書「2.投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書「2.投資リスク参考情報」および「3.運用実績」をご参照ください。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ・この商品を購入した場合の最大利益額、最大損失額はどのくらいか説明してほしい。
- ・相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	一律：3.30%（税込）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	実質的な運用管理費用（投資先を含む信託報酬率）：年1.62%（税抜 年1.53%）程度 その他費用（監査費用等）がファンドから支払われます。これらは事前に料率を表示することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※費用の詳細は、交付目論見書「4.手続・手数料等 ファンドの費用・税金」をご参照ください。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・この投資信託に100万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
- ・投資信託にかかる費用は、どんなサービスの対価か説明してほしい。
- ・費用がより安い類似商品はあれば、その商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

- この商品の償還日は2034年9月15日（休業日の場合は翌営業日）です。但し、償還延長や繰上償還の場合があります。
 - お客さまがこの商品を換金・解約しようとする場合の手数料や信託財産留保額はかかりません。
 - 市場の閉鎖、運用会社が指定する海外の休業日の場合等、換金・解約の受付の中止または取り消しとなることがあります。
- ※ 換金・解約の条件の詳細は、交付目論見書「4. 手続・手数料等 お申込みメモ、ファンドの費用・税金」をご参照ください。



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・投資信託を換金・解約するとき、具体的にどのような「制限」や「不利益」があるのか説明してほしい。

5 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

- 当社は、お客さまが支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、販売会社分として、年0.825%（税抜 年0.75%）の手数料を頂きます。これは受益者の口座管理業務、収益分配金・換金代金・償還金の支払い業務、購入後の情報提供等の対価になります。
- 当社と組成会社（運用会社）の間に重要な資本関係等はありません。
- 従業員の業績評価上、この投資信託が他の投資信託の販売より評価されることはございません。

※ 利益相反に関する対応方針は、ホームページをご参照ください。

<https://www.pwm.co.jp/fair>



以下のような質問があれば、お問い合わせください。

- ・私の利益より販売会社側の利益を優先した運用商品を私に薦めていないでしょうか？
- ・私の利益を害することがないよう、販売会社側において顧客本位の取り組みをとられていますか？

6 租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠の対象か否かもご確認ください）

- NISA成長投資枠およびNISAつみたて投資枠の対象商品ではありません。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分配時	所得税および地方税	普通分配金に対して、20.315%がかかります。
換金（解約）時 および償還時	所得税および地方税	換金（解約）時及び償還時に差益（譲渡益）に対して、20.315%がかかります。

※ 租税の概要の詳細は、交付目論見書「4. 手続・手数料等 お申込みメモ、ファンドの費用・税金」をご参照ください。

7 その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当社が作成した目論見書補完書面	https://www.wam.abic.co.jp/accl/conv.html?p1=1&p2=C24a287&p3=A17311149&p4=006 ※PDF形式で掲載しています。	
組成会社（運用会社）が作成した交付目論見書	https://www.wam.abic.co.jp/accl/conv.html?p1=1&p2=C24a287&p3=A17311149&p4=004 ※PDF形式で掲載しています。	

交付目論見書、目論見書補完書面、重要情報シートはご希望がございましたら紙でもお渡します。

各質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認下さい。

https://www.wam.abic.co.jp/ap02rs/contents/pdf/C24a287/doc/C24a287_qa.pdf



投資信託は、投資元本および収益金は保証されておりません。投資信託をご購入の際には、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」および「目論見書補完書面」をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。